



ぶどう特報

#1



2025 年 3 月 14 日
JA 中野市営農センター
JA 中野市ぶどう部会

水上がりについては 3/11 現在生育停滞の為 3/20 頃(平年よりやや遅い)と予想。貯蔵養分不足(昨年の着房過多等)による結果母枝の枯れ込み・登熟不良による発芽不良・生育の不揃いが心配されます。園地が乾燥した時はかん水を実施してください。樹体観察を適宜行い、休眠期・発芽前の防除を適期に実施してください。

年度	巨峰発芽	シャイン発芽	特記
平年	4/24	4/27	過去 10 年平均値 (H27~R6)
2024 年 (R6)	4/22	4/23	例年になく品種間の生育差がない年
2025 年 (R7)	4/25 頃	4/28 頃	平年並み~やや遅いと予想

*参考：桜開花予想（日本気象協会 3/6 発表） 4/12（平年 4/11）

【特別散布（共通） カイガラムシ対策】

散布時期	粗皮はぎ後（発芽前） *4 月上旬頃	散布日： ____ 月 ____ 日
散布薬剤	水 100 ℓ 展着剤（ハイテンパワー） 10 ml トクチオン水和剤 125g（収穫 45 日前・3 回）	散布量： ____ ℓ
散布量	300 ℓ / 10a	
適用病害虫	アザミウマ類、コナカイガラムシ類	
注意事項	① 【注意】発芽後の散布は薬害が発生するため散布時期を厳守する。 ② 【注意】訪花昆虫保護のため、早朝の散布を厳守する。 ③ 【農家在庫のみ】トクチオン水和剤に代えて、ラビキラー乳剤 200 倍（発芽前・2 回）を散布してもよい。ただし、発芽後の散布は薬害が発生するので散布時期を厳守する。 ④ 【晚腐病対策】多発した園地はベンレート水和剤 200 倍(休眠期・1 回)を加用する。	

裏面に「病害虫対策」、
「パダン SG 水溶剤の登録内容変更について」を記載

◆ 病害虫対策

① 粗皮はぎ

- ◆ 目的：ブドウトラカミキリ・カイガラムシ類・クビアカスカシバ等の主幹害虫対策
- ◆ 時期：藁外し終了後（4月上旬頃）
- ◆ 休眠期防除前に粗皮はぎを行い、薬剤が直接かかるようにする。
- ◆ 流れ：藁外し → 粗皮はぎ → 発芽前防除

② 黒とう病・晩腐病対策

- ◆ 巻きひげや昨年の発病痕の除去
- ◆ 芽かき・新梢整理の徹底（薬液や空気の通りを良くする）
- ◆ 薬剤散布は予防を前提に進める（特に満開期以降のゲリラ豪雨発生後の散布間隔に注意）
- ◆ 袋かけ前の防除後の早期袋かけの実施
- ◆ 薬剤散布の死角をなくす
- ◆ 適期収穫の徹底（発病前に収穫）

◆ パダン SG 水溶剤の登録内容変更について（使用時期、使用回数に注意！）

- ◆ 登録変更の時期：2025 年 2 月 27 日付
- ◆ 登録変更の内容：作物名 「大粒種ぶどう」 ⇒ 「ぶどう」
使用時期 「収穫 21 日前」 ⇒ 「収穫 14 日前」
本剤の使用回数およびカルタップを含む農薬の総使用回数
「5 回以内」 ⇒ 「2 回以内」

【変更前】

作物名	摘要病害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルタップを含む農薬の総使用回数
大粒種 ぶどう	チャノドアミマ フテヒメコバ イカバ 類	1,500 倍	200～ 700 L/10a	収穫 21 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内

【変更後】

作物名	摘要病害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルタップを含む農薬の総使用回数
ぶどう	チャノドアミマ フテヒメコバ イカバ 類	1,500 倍	200～ 700 L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内

*ご不明な点がございましたら、担当技術員までお問い合わせ下さい。

次回特報配布予定：3 月下旬 発芽直前定期散布他